

会社概要

企業理念

わたしたちは
確かなものづくりを通して
豊かな社会の実現に貢献します

行動指針

- 信頼を築く
- 技を磨き、伝える
- 夢をいだき、挑戦する

企業行動5つの誓い

法令遵守 ▶ その行為は**法律に違反していないか**

企業倫理 ▶ その行為は**企業理念や倫理に違反していないか**

社会常識 ▶ その行為は**社会の常識か**

社会の目 ▶ その行為は**社会の目、安心、安全にそむいていないか**

自分の心 ▶ その行為は**間違いないか、自分の心に問いかける**

(2018年現在)

社 名：株式会社 NIPPO

英 文 社 名：NIPPO CORPORATION

設 立：1934年(昭和9年)2月

本社所在地：〒104-8380
東京都中央区京橋1-19-11
TEL 03-3563-6751(代表)

代 表 者：代表取締役社長 吉川 芳和

資 本 金：15,324百万円

事業内容：建設事業、アスファルト合材等の製造・販売事業、
開発事業およびその他の事業

従業員数：1,591人(男性1,497人、女性94人)
※2018年3月31日現在

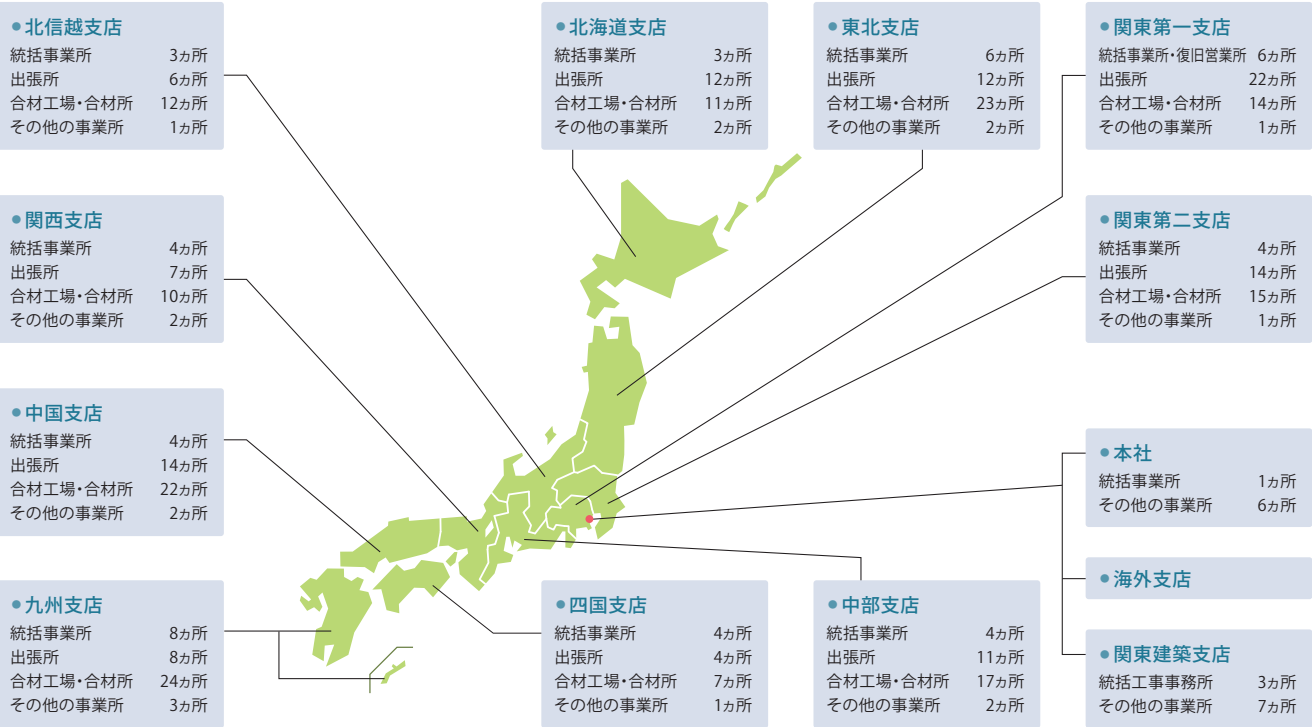
ホームページ：https://www.nippo-c.co.jp/

株式会社NIPPOはアスファルト舗装工事を中心とする舗装・土木工事およびアスファルト舗装の材料であるアスファルト合材の製造・販売を中核事業としています。

舗装・土木工事の対象は、一般道路、高速道路、レーシングコース、空港から、市民の憩いの場となる公園、テニスコート、サッカーグラウンド、さらには庭先舗装まで広範囲に及びます。また、製造したアスファルト合材は当社の工事で使用するだけでなく、ほかの舗装工事業者にも販売しています。

このほか、オフィスビルや工場等の建築工事、都市型マンションの分譲や市街地再開発等の開発(不動産)事業、土壌浄化事業、海外事業といった戦略事業を取り込み、事業基盤を強化しています。

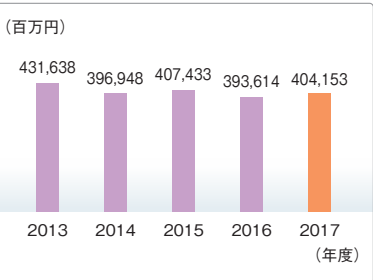
事業所一覧 (2018年4月1日現在)



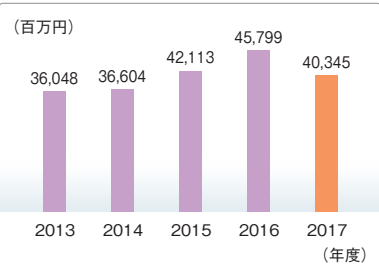
CSR活動への取り組み

- 1934 日本石油(株)道路部と浅野物産(株)道路部の合同により「日本舗道株式会社」を設立
- 1993 企業行動倫理委員会設置
- 1994 環境保全活動推進のための諮問機関として環境管理委員会を設置
企業理念・行動指針制定
- 1995 シンボルマーク改定
- 1998 環境に関する基本理念と行動指針を表した環境保全活動指針を制定
- 2003 日本舗道株式会社が、新日石エンジニアリング株式会社を吸収分割して「株式会社NIPPOコーポレーション」に商号変更
法令遵守(コンプライアンス)体制構築
- 2004 環境報告書創刊
- 2005 CSR体制構築
- 2006 企業理念・行動指針改定
- 2007 CSRLレポート創刊
- 2009 「株式会社NIPPO」に商号変更
- 2012 プラントエンジニアリング部門を「JXエンジニアリング株式会社」に会社分割

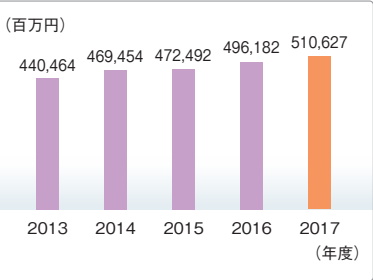
売上高(連結)



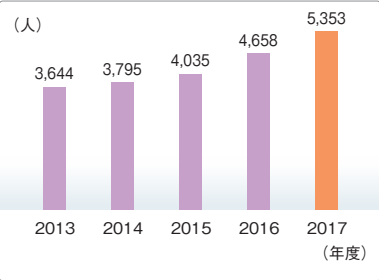
経常利益(連結)



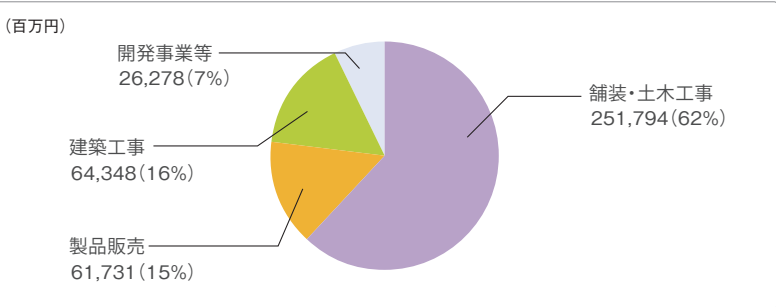
総資産額(連結)



従業員数(連結)



事業分野別売上高(2017年度)(連結)



目次

会社概要	01
トップメッセージ	03
NIPPOの事業	05
マネジメント報告	
コーポレート・ガバナンス	07
CSRマネジメント	08
コンプライアンス	09
リスクマネジメント	11
社会性報告	
お客様の信頼を得るために	12
社会とのコミュニケーション	13
従業員とのかかわり	15
環境・安全報告	
安全管理	19
品質保証体制	20
環境マネジメントシステム	21
舗装事業における環境保全活動	23
舗装事業における環境・安全対策技術	25
建築事業・開発事業・土壌浄化事業	27
における環境・安全配慮	
読者の声を受けて	29
第三者意見	32

編集方針

CSRとは、Corporate Social Responsibilityの略で、「企業の社会における信頼性」と訳されます。このCSRレポートでは、株式会社NIPPOが社会から信頼されるために取り組んでいる活動を紹介し、一般の方にとってなじみの薄い建設業を事業活動の中心とする株式会社NIPPOと、経済、環境、社会とのかかわりについて、多くの方々に知っていただくことを編集の基本方針としています。

このレポートをツールとして当社と関わる多くの方々とコミュニケーションをさらに充実させていきたいと思えます。

対象範囲と対象期間

対象範囲：株式会社NIPPOの本社、支店12カ所、統括事業所・統括工事事務所・復旧営業所50カ所、現業事業所295カ所(海外を除く)。

対象期間：2017年度
(2017年4月1日から2018年3月31日)
一部には、時期を明示した上で2017年度以前の情報と2018年8月までの最新情報を掲載しています。



株式会社 NIPPO 代表取締役社長

吉川 芳和

社会の一員として、皆様のご期待に応える会社であり続けます。

信頼の回復に向けて

一連の独占禁止法違反事件につきまして、株主の皆様、お取引先をはじめ数多くのステークホルダーの皆様にご多大なるご迷惑とご心配をお掛けしておりますことを深くお詫び申し上げます。

当社は、独占禁止法違反行為を再び繰り返さないために策定した、「コンプライアンス体制の改革」「適正な受注活動を確保するための施策」「組織・人事的対応」の3つの事項を柱とする再発防止策を、継続的かつ計画的に実行しております。さらに、2017年度からは、これらの取り組みに加え、法務部門および弁護士によるモニタリングも展開しており、その結果、新たな違法行為は確認されておりません。

当社は、独占禁止法をはじめとする、あらゆる法令に違反する行為は絶対に行わないという組織風土・企業体質を盤石なものとするための取り組みを推し進め、引き続き全社一丸となって信頼の回復に努めてまいります。

人の命を守る

当社には、事故防止に向けた様々なルールがあります。これは過去に残念ながら発生してしまった死亡事故などを教訓として、二度と尊い人の命が失われないよう「死亡事故ゼロ」を目指して決めたものです。その中の一つである「安全作業

5つの誓い」は、日々の作業において、全社で実施を徹底しています。

重機作業	人との分離を実施したか ヨシ!
車両後退	誘導合図を確認したか ヨシ!
土砂崩壊	土止めはしたか ヨシ!
墜落・転落	安全帯を使っているか ヨシ!
非定常時作業	装置は止めたか ヨシ!

「人の命を守る」安全確保は、企業が第一に果たすべき根幹の責任です。「重大災害防止」に向け、当社はこれからも、ルールと決めたことを確実に守り、熱意をもって安全に取り組んでまいります。

「確かなものづくり」を通して

当社の企業理念にある「確かなものづくり」の言葉には、環境に配慮し、安全に世の中の決まりごとをしっかりと守り、確かな品質のものをお客様にお届けする、という意味が込められています。つまり、法令遵守や品質保証、安全管理、環境保全等についての要求事項を満たすことです。当社が将来にわたり生き残るためには、この「確かなものづくり」を通して、法令、品質、安全、環境など、あらゆる社会的要求に適正に応え、お客様から選ばれ続けなければなりません。

「確かなものづくり」はCSR活動そのものです。当社は、こ

の「確かなものづくり」を通して、常に社会から信用・信頼され、そしてお客様から選ばれる会社となるよう、様々な取り組みを進めてまいります。

環境に優しい技術を皆様へ

当社は、都市環境改善およびヒートアイランド抑制の技術として「遮熱性舗装」の展開を進めています。車道用の技術として開発したこの「遮熱性舗装」は、2020年のマラソンコースに採用が検討されているほか、今では歩行者用、プールサイド用、そしてスポーツ施設周用といった商品等を取り揃え、皆様の身近な存在となっております。

また土壌浄化の分野におきましては、従来から取り組んでいる油除去に加えて、揮発性有機化合物(トルエン、キシレン等)の除去技術として、マイクロバブルオゾン水を利用した手法を開発し、2017年秋から実用化しております。

当社にはアスファルト舗装を中心に様々な技術があります。当社はこれまで培ってきた知識や経験を活かし、環境に優しい技術の開発に取り組むことで、社会に貢献していきたいと考えております。

社会の一員として

当社は全国各地に事業所を展開しており、それぞれの事業所が社会の一員として自然災害の復旧活動をはじめ、地域に密着した清掃活動や交通安全運動、町内会活動などに取り組み、従業員が積極的に参加しております。さらに現在、これまでの活動に「もう一つ」新しい取り組みを行うべく、「+1(プラ

スワン)活動」を推進しています。この取り組みの一環として、2016年度から、全社一斉ボランティアとして、年2回(8月および2月)の道路清掃活動を行っています。

この他、NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会」へアスファルト合材の販売数量に応じて寄付する取り組みや、教育教材「おしごと はくぶつかん」への協賛、さらにはJXTGグループの一員として「童話の花束」チャリティー活動への参加など、様々な社会貢献活動にも取り組んでおります。当社は、これからも社会の一員として、皆様と共に歩んでまいります。

おわりに

国内景気は引き続き緩やかな回復基調で推移しておりますが、建設業界においては、建設技能労働者の不足や原材料価格の上昇など、企業経営を取り巻く環境は厳しい状況にあります。このような状況下にあっても、当社はステークホルダーの皆様のご期待に応え、社会から必要とされる企業であり続けるため、引き続きCSR活動に積極的に取り組んでまい

る所存です。本報告書では、法令遵守に向けた取り組みや事故防止に向けた安全への取り組み、環境に配慮した技術の開発、さらには地域に密着した社会貢献活動など、当社が日頃から行っているCSR活動を、できるだけ分かりやすくまとめました。またCSRに対する従業員の考えや各々の取り組みについてもご紹介しています。

本書を是非一度お読みいただき、皆様のご理解、ご支援、そして忌憚りの無いご意見を賜りますようお願い申し上げます。

NIPPOの事業

事業活動を通じて、社会の様々な場面で

当社の技術力を活かした「確かなものづくり」を実践し、

豊かな社会の実現を目指しています。

土壌浄化事業

事業を通じて汚染を社会全体に拡散させないことを念頭に、「土壌浄化」工法の提案に日々努めています。また、搬出する汚染土壌の管理票購入費の一部は、土壌汚染対策基金に使われています。

開発（不動産）事業



ル・サンク東京森下 2017年11月竣工

環境と安全に配慮し、永く安心できる住環境の提供を柱とした不動産事業を展開しています。「環境重視」「安全性の高い商品企画」「資産価値の高い街づくり」をコンセプトとし、全国の主要都市において、マンション分譲事業「Le Cinq」シリーズ、賃貸事業「ABAS」シリーズおよび市街地再開発事業に取り組んでいます。

海外事業



タイのグループ会社 再生アスファルトプラント

中国やインド、東南アジア諸国を中心としたテストコースの建設、アフリカ諸国を中心とした日本政府の開発援助（ODA）による道路整備事業への参画、タイでの再生アスファルト合材事業の展開等、当社の道路分野における長い経験、高い技術力を活かし、世界での活躍の場を広げ、各国のインフラ整備に貢献しています。

建築事業

1983年から本格的に建築事業に取り組み、多彩な建築を手掛けてきました。設計・施工・アフターサービス・修繕・メンテナンスまで一貫した体制を確立し、お客様の信頼を得ています。これまで培ってきた地域社会とのつながりを活かし、環境に配慮した最良の建築物をかたちにしています。



リゾートマンション建築

製品製造・販売事業



筑波合材工場



クイックガードS

アスファルト合材を製造・販売する工場を全国に展開しています。これらの工場では、舗装工事で現場から回収された舗装廃材を受け入れ、その全量を自社工場内で再資源化、再利用するリサイクルシステムを構築し「循環」を完結しているほか、燃料のガス化や省エネ機器の導入等によるCO₂排出量削減に取り組んでいます。

舗装・土木事業



日高自動車道（日高町） 2018年3月竣工



グラウンド整備工事 2018年3月竣工

1934年の会社設立以来、日本全国で様々な「道づくり・まちづくり」を手掛けてきました。道路、空港、スポーツ施設等のインフラ整備を通して、社会に貢献しています。近年では、沿道環境や地域環境の保全に向けた技術開発はもちろんのこと、生産性向上にもつながるICTにも積極的に取り組んでいます。